

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

別添3（期間B、その他区域用）

店舗ごとの協力金支給申請額計算書

店舗名（屋号）	
---------	--

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。
支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

【売上高方式】 ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

中小企業又は個人事業主ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい

いいえ

令和元年又は令和2年いずれかの5～6月の売上高は1日あたり
83,333円を超えますか？
(1日あたりの売上高=5月と6月の売上高の合計÷61)

売上高減少方式で申請
(裏面へ進みます)

はい

いいえ又は不明

令和元年又は令和2年いずれかの5～6月と令和3年の5～6月の売上高減少額が1日あたり25万円を超えている場合は、売上高減少方式も選択可能です。

支給額は1日あたり2.5万円です。
以下を記入して支給額を確定してください。

25,000円 × 日 = 円

上記内容で申請します (確定申告書等の写しは不要)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年5月の売上高 円 + 令和元年又は令和2年6月の売上高 円 = 円

円 ÷ 61日 × 0.3 = 円

※確定申告書等の写しが必要です。

※①と②の売上高は、同じ年の実績で統一してください。

※最大7.5万円

千円単位切上

1日あたり支給単価 000円

1日あたりの支給単価 000円 × 時短協力日数 (最大29日) 日 = 当該店舗の支給額 000円

上記内容で申請します

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

【売上高減少方式】 ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

令和元年又は令和2年いずれかの5～6月と比べて
令和3年の5～6月の売上高は減少していますか？

はい

いいえ

申請できません
(中小企業者等の場合は、売上高方式(前頁)により申請できます)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年の5月の売上高 ① 円	+	令和元年又は令和2年の6月の売上高 ② 円	=	③ 円
--------------------------	---	--------------------------	---	-----

令和3年の5月の売上高 ④ 円	+	令和3年の6月の売上高 ⑤ 円	=	⑥ 円
--------------------	---	--------------------	---	-----

令和元年又は令和2年の5～6月の売上高計 ③ 円	-	令和3年の5～6月の売上高計 ⑥ 円	=	⑦ 円
-----------------------------	---	-----------------------	---	-----

⑦ 円	÷	61日	×	0.4	=	⑧ 円
-----	---	-----	---	-----	---	-----

※①と②の売上高は、同じ年の実績で統一してください。

千円単位切上

1日あたりの支給単価 ⑨ 000円

令和元年又は令和2年の5～6月の売上高計 ③ 円	÷	61日	×	0.3	=	⑩ 日
-----------------------------	---	-----	---	-----	---	-----

千円単位切上

1日あたりの支給単価 ⑪ 000円

※⑨、⑪及び20万円のうち、最も低い金額を1日あたりの支給額とします。

1日あたりの支給単価 ⑫ 000円	×	時短協力日数(最大29日) ⑬ 日	=	当該店舗の支給額 ⑭ 000円
----------------------	---	----------------------	---	--------------------

上記内容で申請します